

研究課題名	胆道治療後の肝切除例に対する後方視的観察研究
研究の意義・目的	本研究は胆道治療後の肝切除術後に肝膿瘍などの術後合併症率に頻度やリスク因子を検討することを目的としています。本研究は滋賀医科大学が中心となって行う研究です。
研究を行う期間	機関の長の実施の許可日～ 2023年12月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2010年1月～2020年12月に大阪市立大学医学部附属病院の肝胆膵外科で、胆道治療歴があり肝疾患のため肝切除をされた方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、病理結果、術後合併症】
試料・情報の他機関への提供	この研究は 滋賀医科大学 外科学講座へ頂いた情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	代表研究機関：滋賀医科大学 外科学講座 氏名：飯田洋也 共同研究機関 大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 氏名：久保正二 大阪大学大学院医学研究科 消化器外科学 氏名：小林省吾 大阪医科薬科大学 一般・消化器外科 氏名：廣川文鋭 関西医科大学 外科学講座 氏名：海堀昌樹 近畿大学医学部 外科学講座 氏名：中居卓也 和歌山県立医科大学 外科学第2講座 氏名：上野昌樹 京都府立医科大学 消化器外科学 氏名：生駒久視 奈良県立医科大学 消化器・総合外科 氏名：北東大督
試料・情報を管理する責任者	滋賀医科大学 外科学講座 研究代表者：飯田洋也
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	研究責任者 大阪市立大学大学院医学研究科 肝胆膵外科学 准教授 久保正二 住所 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 肝胆膵外科学医局 電話 06-6645-3841 FAX 06-6646-6057 E-mail m7696493@med.osaka-cu.ac.jp